

株式会社 システムソフト

# Business Report 2020

## 第39期 株主通信

2019年10月1日 ▶ 2020年9月30日

### CONTENTS

株主の皆様へ／トップインタビュー	1P
トピックス	4P
事業別の概況	5P
連結財務データ	7P
会社概要	9P
株式情報	10P
株主メモ	裏表紙



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2020年9月30日をもって、第39期を終了いたしましたので、事業の概況等をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2020年12月

代表取締役社長 吉尾 春樹

## 既存システムの保守・改修 安定的な収益基盤を確保し

**Q** 当期(2020年9月期)の決算について教えてください。

**A** 当社グループが属する情報サービス産業におきましては、政府が推奨する第4次産業革命の進展により、AI、IoT、RPA、ブロックチェーンといったテクノロジーの活用やシェアリングエコノミーへの取り組み、デジタルネイティブ企業へと変革する各企業の取り組みが加速する中、社会構造が大きく変化する「ニューノーマル」時代を支える技術的な支援やサービスの提供が一層求められております。

このような環境の下、当社グループは、デジタルトランスフォーメーション領域(DX、X DIGITAL)を支援するITサプライヤー企業グループへと成長することを目指してまいりました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響面で常駐型案件等の待機人員コスト、社内インフラコストが増加しま

### 経営理念

当社は、優れたIT技術により、お客様の問題解決に真摯に取り組み、お客様、そして社会に必要な会社として貢献いたします。

IT技術により効率的に情報を収集、整理、発信し、社会を構成するひとりひとりが情報を十分に活用していくことができる環境を実現したいと願っております。

当社の従業員は、常に新しいことに積極的に取り組み、お客様、自己、会社(株主様)、社会への大きな責任を常に自覚し、優れた企業人として振舞う人でありたいと願っております。

## から、新技術領域へシフトしていきます

した。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は前連結会計年度に比して136百万円(4.6%)減少し2,863百万円、営業損失は251百万円(前年同期は営業利益153百万円)となりました。また、経常損失は275百万円(前年同期は経常利益85百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失は655百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失1,724百万円)となりました。

**Q** 来期(2021年9月期)の見通しについてはいかがですか。

**A** 景気は緩やかな回復基調が期待される一方、企業のIT投資全般におきましては、先進的な企業においては、デジタルトランスフォーメーション領域への投資が引き続き進んでいくものと予測しております。

当社といたしましては、新たなテクノロジーの活用やシェアリングエコノミー等の潮流が生じ各企業が「デジタルネイティブ企業」へと変革する取り組みが進むこれからの環境の変化をビジネスチャンスと捉え、子会社 株式会社DigiIT(デジット)の事業活動を通じて、RPAソリューションやWEBコンサルティングといったDX領域のほか、主要顧客が展開するシェアリングエコノミー事業・プラットフォーム事業とのシナジーを活かした新たなサービスの提供を引き続き加速させてまいります。

また、当社グループは子会社を交えたこれらの企業

活動を通じて、未来のIT企業に求められる企業価値創造や風土の醸成を行い、将来にわたりマーケットから求められる存在力を有する、魅力ある企業グループとなることを目指します。

これらにより、次期の業績予想は、売上高3,100百万円、営業利益150百万円、経常利益100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益60百万円を見込んでおります。

※本予想には、fabbit株式会社との合併に伴う影響は含んでおりません。

**Q** 今後の事業への取り組みについてお聞かせください。

**A** 現在、IT企業の成長領域は、既存システムの保守・改修から、新技術領域へシフトしておりますので、当社でも新しいテクノロジーを活用したサービスの提供に、人材や資金の投入を戦略的にシフトしてまいりました。当社グループは、更なる企業価値の向上のため、①安定的な収益基盤の確保、②当社で活躍できる人財の採用と育成、③コーポレート・ガバナンスの推進に重点的に取り組んでまいります。あわせて、新型コロナウイルス感染症における環境の変化に対応し、「ニューノーマル」の勝者になるべく、ビジネスモデルを構築します。

また、当社のグループ会社の中核を担う株式会社DigiITは、3年目を迎える今秋10月より、新社長を迎えました。新社長の香川 進吾氏はDXにフォーカスしたICT(情報通信技術)で「お客様の仕事の効率性・生産性を

実現するサービスを提供し、社会に貢献するとともに個人の生活を豊かにする]変革を進めるべく、経験を活かし、DX時代の新たなビジネスモデルの確立を後押しする重要な役割を担っております。

あわせて、fabbit株式会社との合併においても、注力してきたRPAソリューションやWEBマーケティングといったDX領域に、fabbit社のオープンイノベーションの提供、アライアンスサービスやFA(ファイナンシャル・アドバイザー)などのコンサルティングを加え、新たな価値創造を目指します。

**Q** 株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

**A** 当社は、本年7月の第2回無担保社債の発行時に、財務代理人である銀行へ支払う手数料の一部をSDGs関連団体(一般社団法人福岡県フードバンク協議会等)を通じて、子ども食堂(※)に寄付をいたしました。

また、当社は今回の社債の発行に伴い、当社のSDGsへの取組状況について、公益財団法人九州経済調査協会による調査を踏まえ、株式会社西日本シティ銀行より5項目の認定を受けました。



当社グループは、今後も、企業価値の継続的向上を図るとともに、SDGsへの取り組みを進め、積極的に社会貢献に取り組む企業を目指します。

株主の皆様にはこれまで以上のご理解とご支援を賜りますよう、今後とも宜しくお願い申し上げます。

## 当社が認定されたSDGs項目



※子ども食堂とは、地域の子どもやその家族に対し、無料または安価で栄養のある食事や暖かな団らんを提供するための事業。また、地域の人々をつなぐ地域交流拠点としての役割も担っている。



# 当社は、fabbit株式会社と 2021年1月1日に合併いたします

当社は、fabbit株式会社と2021年1月1日をもって合併することを公表いたしました。

当社グループは、新たなテクノロジーの活用やシェアリングエコノミー等の潮流が生じ各企業が「デジタルネイティブ企業」へと変革する取り組みが進むこれからの環境の変化をビジネスチャンスと捉え、DX領域へと注力してまいりました。また、当社は更なる企業価値の向上のため、従来のシステム開発事業との相乗効果が期待できる新たな事業展開を行うことを、重要な経営課題としております。

fabbit社は、コワーキングスペースやレンタルオフィスの提供に加えて、政府の提唱する「日本再興戦略2016」の趣旨に賛同し、「スタートアップ企業」や「ベンチャー企業」、「企業の第二創業」の支援、またそれら企業と大手企業とのビジネスマッチングを推進する施設として「fabbit」を運営しています。IT企業を含む多くのスタートアップを支援するエコシステムとして機能しており、このたびの合併によってこれらの企業との連携を拡大し、当社サービスを拡充・強化するとともに、新規ビジネス領域に参入することで、ニューノーマル時代での企業価値向上を目指します。

## 会社概要

名称	fabbit株式会社
本店所在地	東京都千代田区大手町二丁目6番1号 朝日生命大手町ビル
代表者	代表取締役 田中保成
資本金	1,000万円
設立年月日	2017年4月3日
事業内容	コワーキングスペース・レンタルオフィスの運営 国内外46カ所の施設と、デジタル関連企業を含んだ 10,000名以上の会員 ※提携先企業を含む



fabbit Global Gateway “Otemachi”内の様子



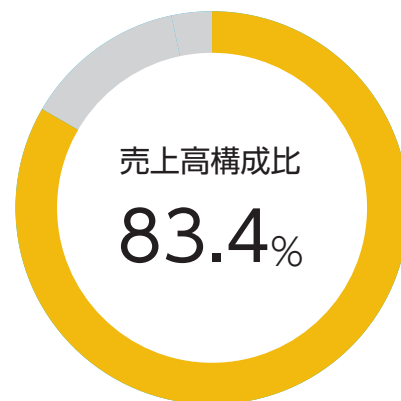
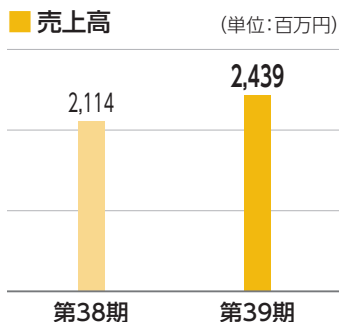
fabbit Global Gateway “ACROS Fukuoka”内の様子

# 事業別の概況

## システムソリューション事業

売上高 2,439百万円

セグメント利益 150百万円



### 当期の業績について

当連結会計年度におきましては、不動産分野、生損保分野において案件の受注が順調に進み、売上・利益面が大幅に向上いたしました。

これらにより、システムソリューション事業の売上高は前連結会計年度に比して325百万円(15.4%)増加し2,439百万円、セグメント利益は前連結会計年度に比して50百万円(50.2%)増加し150百万円となりました。

### 事業内容

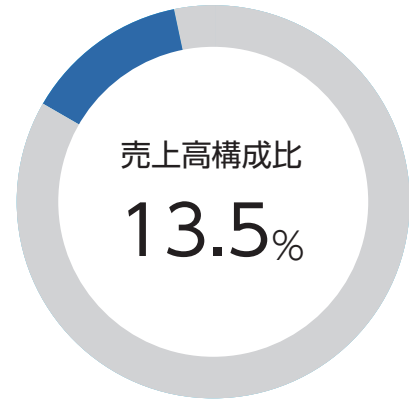
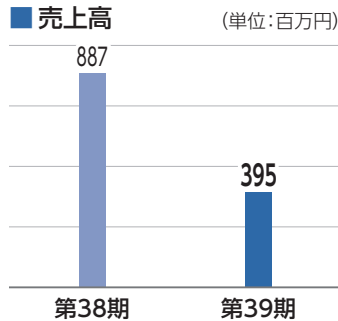
Web技術をベースとするシステム開発に強みを持ち、不動産分野、情報通信分野、生損保分野、教育分野等のお客様に対して長年にわたってシステム開発およびソリューションサービスを提供することに加え、賃貸不動産情報サイトの運営を行っております。



## マーケティング事業

売上高 **395**百万円

セグメント利益  $\triangle$  **109**百万円



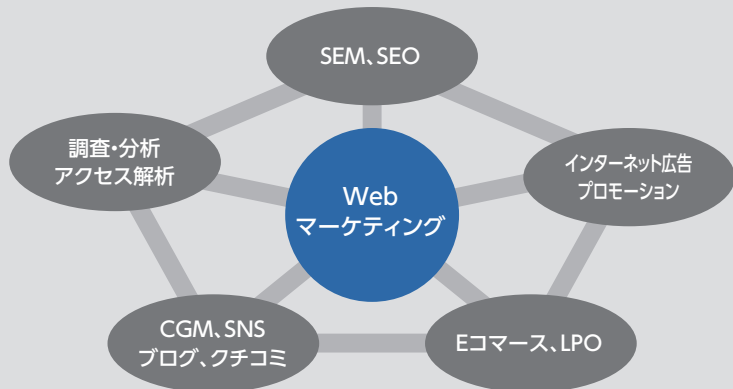
### 当期の業績について

当連結会計年度におきましては、Webマーケティング領域のコンサルティング案件の規模縮小等により売上・利益ともに低下いたしました。

これらにより、マーケティング事業の売上高は前連結会計年度に比して492百万円(55.5%)減少し395百万円、セグメント損失は109百万円(前年同期はセグメント利益195百万円)となりました。

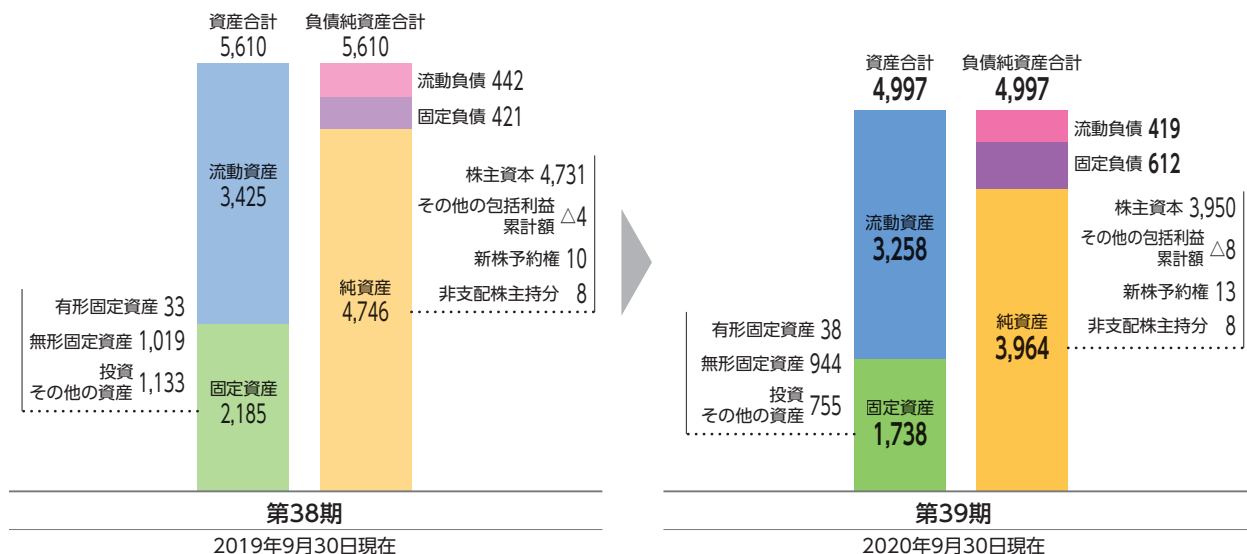
### 事業内容

RPAソリューションのほか、企業におけるシステム運用に関するコンサルティング、Webマーケティングにおけるコンサルティングを中心に、そこから派生するシステム開発を含むソリューションサービスの提供を行っております。



# 連結財務データ

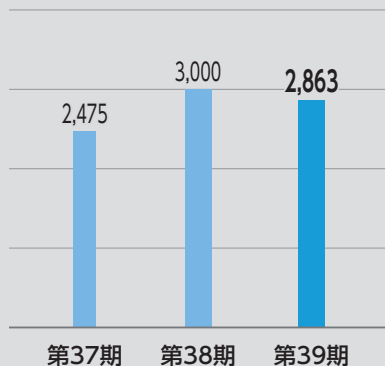
## 資産の状況 (単位:百万円)



## 財務ハイライト

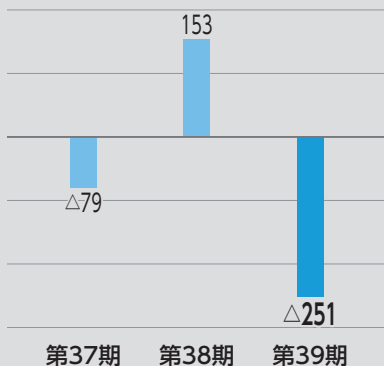
### ■ 売上高

(単位:百万円)



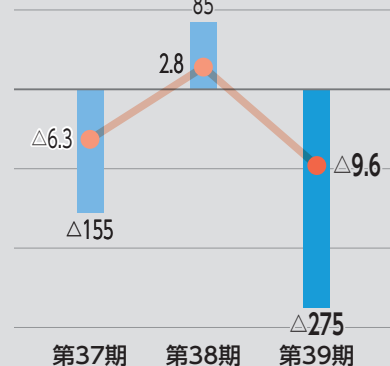
### ■ 営業利益

(単位:百万円)



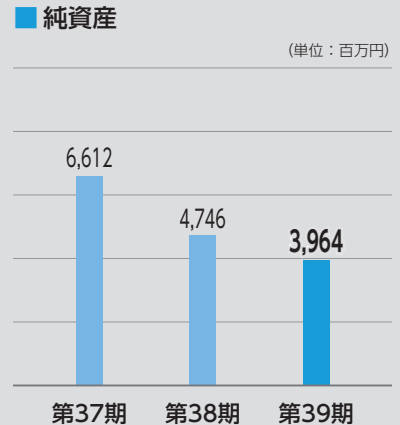
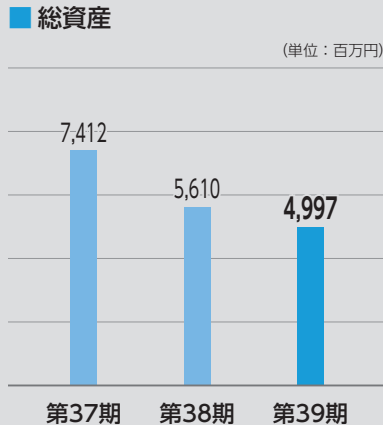
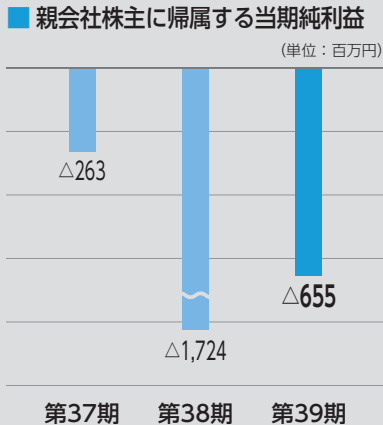
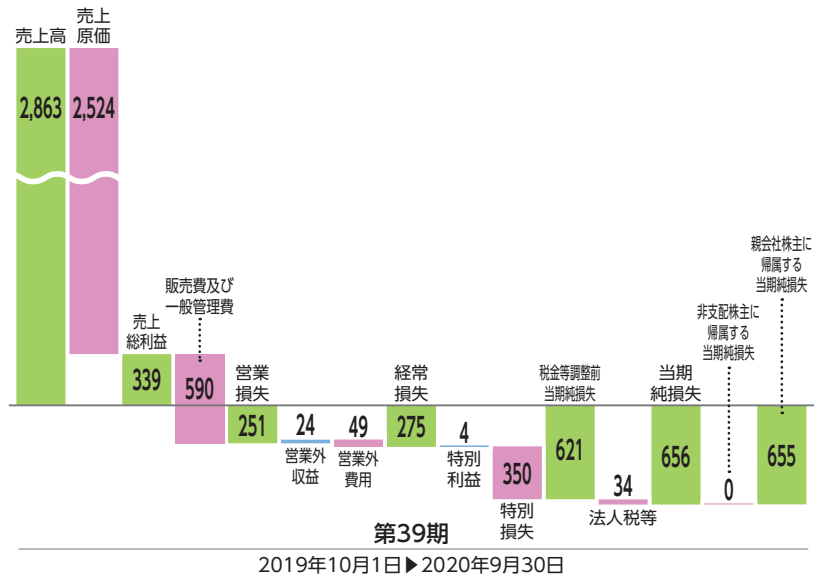
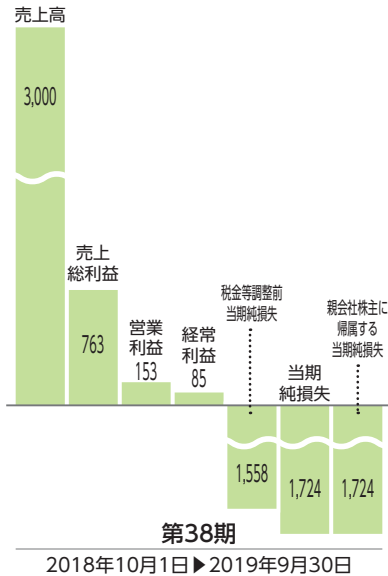
### ■ 経常利益/● 経常利益率

(単位:百万円/%)





損益の状況 (単位:百万円)



## 会社の概要 (2020年9月30日現在)

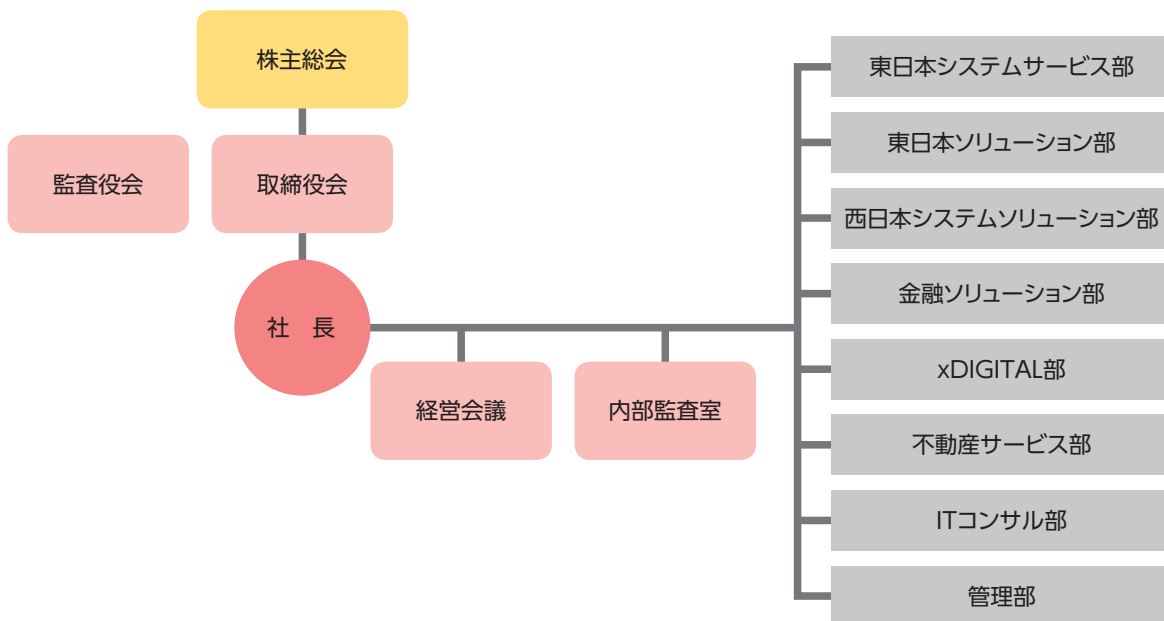
商号	株式会社システムソフト
設立	1979年9月
代表者の氏名	吉尾 春樹
決算期	9月30日
従業員数	158名(連結・2020年9月30日現在)
主要な事業所	東京本社(東京都千代田区) 福岡本社(福岡市中央区)

## 役員 (2020年12月23日現在)

代表取締役社長 吉尾 春樹

取締役 石川 雅浩	常勤監査役 平山 美智子 (社外)
取締役 大村 浩次	監査役 島田 敏雄 (社外)
取締役 田中 保成 <small>※2021年1月1日就任予定</small>	監査役 高橋 英朗 (社外)
取締役 高橋 裕次郎 (社外)	
取締役 浅子 正明 (社外)	

## 組織図 (2020年12月23日現在)



### 株式の状況

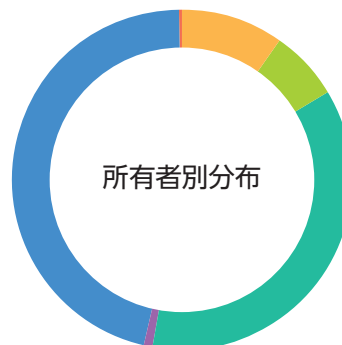
発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式総数	68,040,560株
株主数	10,942名

### 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
Apaman Network 株式会社	23,854,700	35.07
SMBC日興証券株式会社	2,420,200	3.55
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	2,366,900	3.48
丸山三千夫	2,090,000	3.07
株式会社日本カストディ銀行 (信託口5)	955,100	1.40
丸山光子	930,000	1.36
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	826,700	1.21
松井証券株式会社	588,400	0.86
佐々木桂一	528,200	0.77
株式会社日本カストディ銀行 (信託口6)	472,800	0.69

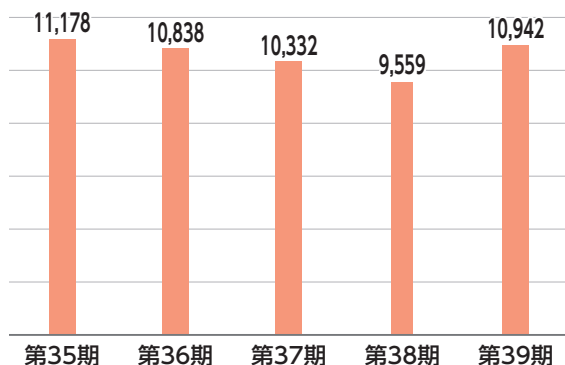
(注) 持株比率は自己株式(31,771株)を控除し、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

### 株式分布状況



金融機関	6,054,400株 ( 8.90%)
証券会社	4,606,216株 ( 6.77%)
その他の法人	25,065,448株 (36.84%)
外国法人等	446,797株 ( 0.66%)
個人・その他	31,835,928株 (46.79%)
自己名義	31,771株 ( 0.04%)

### 株主数の推移 (単位:名)



## 株主メモ

## STOCK INFORMATION

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日 期末配当金 毎年9月30日 中間配当金 毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 【郵便物送付先】 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 【電話照会先】 ☎ 0120-782-031 【インターネットホームページURL】 <a href="https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 <a href="https://www.systemsoft.co.jp/ir/index.shtml">https://www.systemsoft.co.jp/ir/index.shtml</a> やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部（証券コード7527）
単元株式数	100株

### 株式に関する住所変更等のお手続きについての照会

証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

### 未払配当金の支払について

お受け取りがお済みでない配当金等に関するお手続きにつきましては、左記の電話照会先にご連絡ください。

### 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

## ウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご利用ください。

<https://www.systemsoft.co.jp/>

システムソフト

検索

# Systemsoft

株式会社 システムソフト

東京本社

〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番1号

福岡本社

〒810-8665 福岡市中央区天神一丁目12番1号  
電話 092-732-1515(代表)